

# アルプス(ALPS)処理水海洋放出反対



## 署名(オンライン&署名用紙) 推進ニュース



みやぎ生協・コープふくしま

推進事務局 情報発信チーム

発行日 2022/7/13

No. 47

賛同署名総数は  
7/11まで

**219,130**

\*オンライン署名

**6,362**

\*署名用紙署名

**212,768**

筆  
筆  
筆

<https://www.change.org/Save-the-Ocean-fm>

上記アクセスで直接 署名サイトへアクセスできます。  
★署名用紙での呼びかけもしています。HPまたは事務局まで申し付けください。



みやぎ生協・コープふくしまは  
東京電力福島第一原発事故におけるアルプス処理水の  
海洋放出に反対です。反対署名運動へのご協力をお願いします。



### ◆みやぎ生協・コープふくしま広報誌SCOOPの取材に潜入。

6/14日 宮城県漁協に行ってきました。  
宮城県漁協 寺沢春彦組合長のお話を伺い、印象に残ったことばを一部ご紹介します。  
～詳細はSCOOP9月号に掲載されます。

宮城県漁協 寺沢春彦 組合長

SCOOP取材班から囲まれる

スマホはこちらから



・震災当初どうしたらいいかわからず下を向く状況のなか、周りの支援も受けてようやく前を向いて歩くことができた。  
韓国のホヤ禁輸がまだ解除されず、アルプス処理水の問題がさらに追い打ちをかけることになる。いま必要なのは、起きた後の対策ではなく、風評を起ささない対策。  
ロシア・ウクライナの問題からも、国は一次産業への対策をきちんとやるべき時期にきている。  
国民が安心して生活できる環境を作ること、漁業者が心折れないうちになんとかしなければいけない。国、消費者、生産者が求める安心安全の差をどうやって埋めるかが大事。

◇漁業者の担い手や未来のためにも、悔いを残したくない、漁業を続けられる、消費者が安心して食べ続けることができるよう「風評が起きた後の対策ではなく、起きる前の対策が必要」これに尽きると思いました。そのためにも、やっぱり今は処理水を海洋放出すべきではないことに確信を持ってました。(特派員)



### ◆生協労連女性部会 活動交流集会 2022年5月21～22日 福島県で開催

野中俊吉 みやぎ生協副理事長ふくしま県本部長(当時)が講師を務め「ALPS処理水海洋放出問題を考える学習会」が開催されました。全国各地から20人が福島を訪れ、オンライン配信には25人が参加されました。

労組委員長および代表者に、お渡しください

2022年春季闘争速報 NO.10



全国生協労働組合連合会  
闘争情報号 2688号  
2022年5月23日(月)  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-1-9  
TEL. 03-3408-0067・7695

#### 3年ぶりに現地開催！女性部会第23回活動交流集会

生協労連女性部会は、5月21-22日に福島県にて第23回活動交流集会を開催しました。3年ぶりとなる現地開催に20人が参加しました。また、現地には来られない方のためにオンライン配信もおこない、オンラインではのべ25人が参加しました。

◇参加者からの感想を紹介します。



・処理水を海に流すというニュースを聞いて「海に流していいの？」という気持ちではいましたが、野中講師のお話で、情報隠しや最善の方法を取ろうとしない自己・自社優先で、人や自然のことを考えていないことがよく分かりました。生協として運動することが大事だと改めて思いました。



・廃炉の姿が確定していないということに驚きました。遠隔操作のロボットが取り出して、どういう状態であるか精査しないと分からず、作業の間もずっとデブリを冷やし続ける必要があり、処理水が発生し続けるとのこと。気が遠くなりそうな話だと思いました。

・原発事故以降、生協では風評被害を防ぐために、正しい情報を知る機会や食事調査を行ってきました。無関心のまま風評被害に加担してしまうことのないように、気を付けようと思いました。

・今までALPS処理水海洋放出問題について全く知識がなかったので、今回の学習講演を受けて、恐ろしいことが世の中で起きていることを知りました。私ができることは限られていますが、限られた中でも発信できることがあると思うので、まずは職場へ持ち帰り、署名用紙に記入してもらえるように伝えていこうと思います。

・原発事故で報道されるのは、ぼやけてなんだか分からないデブリの映像や難しく分からない専門用語。それらに辟易として正しく知ろうとしないのは政府の思うツボだと思いました。東電・政府は誠実さを見せるべきです。



・学習会に参加する機会がなかったのですが、今回しっかり学ぶことができました。もっと早く話を聞きたかったという思い半分、そうかまだあと1年あるという思い半分。講演を聞き「これはやっぱり聞いたほうがいい」という思いを強くしました。声をかけることを続けていきたいと思います。



●生協労連女性部会 活動交流集会参加者の皆さん

講演後は感想交流をグループ(オンラインはブレイクアウトルーム)に分かれて実施。知ること、知ろうとすることが大事だということを改めて確認した活動交流集会だったようです。参加者さんの『無関心のまま風評被害に加担してしまうことのないように気を付けたい』という言葉に、改めて「知ることから始まる」気づきの大切さを感じました。福島に足を運んでくださり、2日間を通して福島の今を学んでいただきありがとうございました。



#### <編集後記>erikoのつぶやき

ふくしま大豆の会(みやぎ生協・コープふくしま 事務局)「畑の学校」開校！生産者・加工業者・消費者が手をつないで結成された『ふくしま大豆の会』の畑の学校は、種まき→草取り→収穫→味噌づくりの一連の作業を体験できる人気企画です。新型コロナウイルスの影響で休止していましたが、今年は3年ぶりに畑で開催することができました。ふくしま大豆の会商品の取り扱いがあるエフコープさんも遠く福岡からご参加くださり、暑い日差しのなか温かなつながりを感じながらの種まき。コロナウイルスの影響で不自由な活動が続いていますが、またここから楽しいことが始まる、わくわくな予感に満ちた開校式となりました。



#### <情報・お問い合わせ先>

みやぎ生協・コープふくしま ふくしま県本内  
「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局  
〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F  
TEL.024-557-1181 FAX.557-5359 \* mail :sn.f10243sn@todock.coop(根本)

